

お知らせ

デジタルカメラ/

レンズキット/ダブルズームレンズキット/ボディ

品番 DMC-G2K/DMC-G2W/DMC-G2

DMC-G2ファームウェアアップデートについて

ファームウェアバージョンVer.1.1より、以下の機能を追加および変更しました。
カメラ本体の取扱説明書とあわせてお読みください。

3Dの撮影/視聴に関して、3D交換レンズの取扱説明書「安全上のご注意」もあわせて
お読みください。

- ファームウェアバージョンは、セットアップメニューの[バージョン表示]で確認できます。

3D写真の撮影機能を追加しました。

本機に3D交換レンズ(別売:H-FT012)を取り付けると、迫力ある3D写真を撮影することができます。3D写真を見るには3D対応テレビが必要です。

1 本機に3D交換レンズを取り付ける

2 被写体に画面を合わせ、シャッターボタンを全押しして撮影する

- 3D撮影時は、ピントを合わせる操作は不要です。
- 3D交換レンズを装着して撮影した写真はMPO形式(3D)で保存されます。

3Dの写真を安全に見るために、撮影時には以下の点にお気をつけください。

- ・ できるだけ本機を水平にして撮影してください。
- ・ 被写体に近づきすぎないでください。[3D交換レンズ(別売:H-FT012)装着時は、被写体から0.6 m以上離れて撮影してください]
- ・ 乗車中や歩行中などは手ブレにお気をつけください。

お知らせ

- 3D写真の縦撮影には対応していません。
- 安定した写真を撮影するために、三脚やフラッシュの使用をおすすめします。
- 被写体までの距離が0.6 m～約1 mでは、左右の視差が大きくなり、画面の両端では立体効果が得られない場合があります。
- 3D写真の記録可能枚数は、2 GBのカードを使用の場合、約650枚です。(画像横縦比[4:3]、クオリティ[3D ]に設定時)
- 3D交換レンズ使用時はレンズが暗くなるため、自動設定されるISO感度が通常より大きくなる場合があります。
- 3D交換レンズの取扱説明書もお読みください。

■ 3D撮影時の制限事項

3D交換レンズ(別売:H-FT012)を使っての撮影時には、以下の機能が使えません。

(撮影機能)

- オートフォーカス/マニュアルフォーカス操作
- 紋り値設定
- ズーム操作
- 動画撮影^{※1}
- マイカラーモードの[ダイナミックアート]

※1 動画ボタン、動画Pモード、動画撮影メニューは無効または使用できなくなります。

(撮影メニュー)

- [記録画素数]^{※2}/[クオリティ]^{※3}/[手ブレ補正]/[デジタル赤目補正]/[超解像]/[暗部補正]/[EX光学ズーム]/[デジタルズーム]/[音声記録]

※2 以下のように固定されます。

画像横縦比	記録画素数
4:3	1600×1200画素
3:2	1600×1064画素
16:9	1600×904画素
1:1	1440×1440画素

※3 3D交換レンズ装着時は、以下のアイコンが表示されます。

[3D] (MPO+ ファイン): MPO画像とファイン相当のJPEG画像を同時に記録します。

[3D] (MPO+ スタンダード): MPO画像とスタンダード相当のJPEG画像を同時に記録します。

(カスタムメニュー)

- [AF/AEロック切換]、[ブリAF]、[ダイレクトフォーカス移動]、[フォーカス優先]、[AF補助光]、[AF+MF]、[MFアシスト]、[MFガイド]、[動画ボタン]、[記録枠表示]、[残枚数/残時間切換]

3D写真の再生機能を追加しました。

- セットアップメニューに[3Dテレビ出力]を追加しました。
- 再生メニューに[2D/3D切換]を追加しました。
(3D再生が可能な場合にのみ表示されるメニューです)
- 再生メニューの[スライドショー]に[3D]を追加しました。
- 再生メニューの[再生モード]に[3D]を追加しました。

本機と3D対応テレビを接続して3D記録した写真を再生すると、迫力ある3D写真を楽しむことができます。

3D対応のSDカードスロット付きテレビにカードを入れて、撮影した3D写真を再生することもできます。

本機で撮影した3D写真を再生できる3D対応テレビやレコーダーについての最新情報は、下記サポートサイトをご確認ください。

<http://panasonic.jp/support/dsc/>

準備：セットアップメニューの[HDMI出力解像度]を[AUTO]または[1080i]に設定する。

1 セットアップメニューの[3D テレビ出力]を[3D]に設定する

[3D]：3D対応テレビに接続する場合に設定します。

[2D]：3D非対応のテレビに接続する場合に設定します。

3D対応テレビで2D(従来の画像)再生したい場合も、この設定にしてください。

2 HDMIミニケーブル(別売)で本機と3D対応テレビをつなぎ、本機の[▶]を押す

• 3D記録された写真には、再生時のサムネイル表示に[3D]が表示されます。

• セットアップメニューの[ビエラリンク]を[ON]に設定していてビエラリンク対応テレビに接続した場合は、テレビの入力切換が自動で切り換わり、再生画面が表示されます。

ビエラリンク使用時は、テレビのリモコンで操作ができます。

・マルチ再生時、[3D]タブを選ぶと3D記録した写真のみが表示されます。

・1画面表示時は、テレビのリモコンの▲を押すごとに、2D再生と3D再生が切り換わります。
(3D再生が可能な場合のみ)

撮影情報を表示するには、[サブメニュー]ボタンを押して撮影情報切り替えを選んでください。

・3D再生中は、スライドショーの設定画面は表示されません。

■ 3D記録した写真のみを選んで3D再生する

再生メニューの[再生モード]で[3D]を選んでください。

■ 3D記録した写真のみをスライドショーで3D再生する

再生メニューの[スライドショー]で[3D]を選んでください。

■ 3D記録した写真の再生方法を切り換える

1 3D記録した写真を選ぶ

2 [MENU/SET]を押してメニューを表示させる

3 再生メニューから[2D/3D切換]を選び、▶を押す

• 2D(従来の画像)で再生されている場合は3Dに、3Dで再生されている場合は2Dに再生方法が切り換わります。

• 3D撮影写真の視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合は、2Dで再生してください。

■ 3D写真では動かない/使用できない機能

- ・カスタムメニューの[ハイライト表示]※
- ・再生ズーム※
- ・消去※
- ・再生メニューの編集機能([タイトル入力]/[文字焼き込み]/[動画分割]/[リサイズ(縮小)]/[トリミング(切抜き)]/[横縦比変換]/[画像回転]/[回転表示]/[お気に入り]※/[プリント設定]※/[プロジェクト]※/[認証情報編集]※)

※ 2Dとして表示する場合は使用できます。

お知らせ

- ・3Dで撮影した写真を本機の液晶モニター/ファインダーで再生した場合、2D(従来の画像)で再生されます。
- ・3D記録した写真と2D記録した写真を切り換えて再生する場合は、数秒間黒画面が表示されます。
- ・3D写真のサムネイルを選択時、または3D写真再生後のサムネイル表示は、再生開始や表示に数秒間かかります。
- ・3D写真の視聴時、テレビ画面に近いと目の疲れが出ることがあります。
- ・テレビが3D写真に切り換わらなかった場合は、テレビ側で必要な準備を行ってください。(詳しくは、テレビの取扱説明書をお読みください)

■ 3D写真を残す

レコーダーやパソコンにも3D写真を保存することができます。

レコーダーでダビングする

3Dに対応したレコーダーでダビングすると、3D写真是MPO形式のまま記録されます。

・ダビングした写真が3D写真に切り換わらなかった場合は、テレビ側で必要な準備を行ってください。(詳しくは、テレビの取扱説明書をお読みください)

ダビングできる機器についての最新情報は、下記サポートサイトでご確認ください。

<http://panasonic.jp/support/dsc/>

パソコンにコピーする

付属のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO 5.0 HD Edition」を最新版にアップデートしていただくと、本機で撮影したMPO形式の写真を取り込めるようになります。

アップデートの方法など、詳しくは下記サポートサイトでご確認ください。

<http://panasonic.jp/support/dsc/>